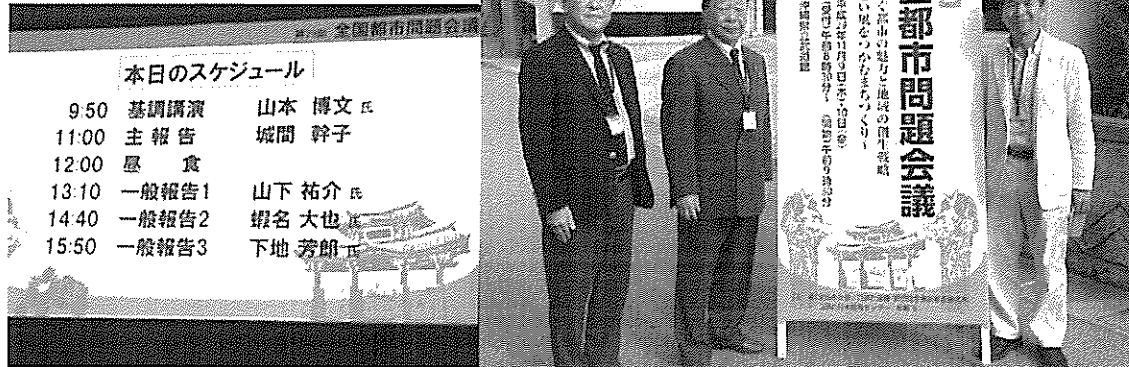


平成 29 年 11 月 9 日(木)～10 日 (金)

第 79 回 全国都市問題会議

会場：那覇市 沖縄県立武道館



目的・概要

「ひとがつなぐ都市の魅力と地域の創生戦略」(新しい風をつかむまちづくり)との演題で、国内から今注目の講師を招き、全国各市長をはじめ議会関係者総勢約 2,000 名の参加者と共に、現在全国的な課題を考察し共有するために参加した。

1 日目 11 月 9 日(木) 9:30~17:00

- ・基調講演「多様性のある江戸時代の都市」
東京大学史料編纂所教授 山本博文
- ・主報告 「ひと つなぐまち—新しい風をつかむまちづくり—」
那覇市長 城間幹子
- ・一般報告「人口減少社会の実像と都市自治体の役割—人口とインフラの適正な持続配置はいかに可能か?—」
首都大学東京大学院人文科学研究科准教授 山下祐介
- ・一般報告「自然と都市が融合し共生が地域の価値を高めるまちづくり」
釧路市長 蛭名大也
- ・一般報告「新たなステージに入った沖縄観光—複合的な魅力を有するハイブリッドリゾートへ—」
琉球大学観光産業科学部長・教授 下地芳郎

2日目 11月10日(金) 9:30~12:00

・パネルディスカッション

テーマ「ひとつながり都市の魅力と地域の創生戦略—新しい風をつかむまちづくり—」

コーディネーター

早稲田大学理工学術院教授 後藤春彦

パネリスト

株式会社能作代表取締役 能作克治(代理 娘)

まちひと感動のデザイン研究所代表 藤田とし子

沖縄文化芸術振興アドバイザー 平田大一

勝山市長 山岸正裕

島田市長 染谷絹代

所感

1日目の講演では、東京大学史料編纂所教授 山本博文氏の講演が記憶に残った。

日頃観ているNHKの英雄たちの選択や知恵泉などに出演している先生だが、参勤交代の大名行列が各宿場町にどの様に経済貢献してきたかという話は非常に興味が沸いた。

2日目のパネルディスカッションでは、沖縄文化芸術振興アドバイザー 平田大一氏発言が心に残った。行政が様々な政策をピッチャーとして投げても、受け取り手のキャッチャーとしての市民、市民団体が整わないと実現しないという言葉が記憶に残った。